

ボランティアをはじめませんか？

地域において、「カフェ」や「いきいき100歳体操」など住民主体での活動が進みつつあります。元気な高齢者が培ってきた経験・知識・技術などを活用して様々な形で地域に貢献することで自分自身の健康づくり・介護予防につながると同時に、地域や社会をよくし、活動する人自身のいきがいにつながります。播磨町では、介護支援ボランティアとして現在約90人が登録し、活動しています。イキイキと元気にボランティア活動を続けられるように、介護支援ボランティアポイント事業をスタートします。

▶申込み・問合せ 地域包括支援センター ☎079 (435) 1841

介護支援ボランティア養成講座

ボランティアをする前に受講してください。

▶実施日 いずれも内容は同じです。各日程とも5日前までに電話でお申し込みください

○6月17日(金)、7月4日(月) 15:00～16:30

○7月27日(水)、8月30日(火)、9月28日(水) 10:00～11:30

▶対象 60歳以上の住民で、継続的に介護支援ボランティアをする意思がある人

▶場所 福祉しあわせセンター3階会議室

▶定員 15人

▶内容 ボランティア活動の基本的な心構えほか

▶持ち物 筆記用具

▶申込み 地域包括支援センター

☎079 (435) 1841

どんな活動をするの？

介護支援ボランティアには、町内の介護事業所で、利用者の話し相手やお茶出しなどの活動を行う「施設ボランティア」と町が指定する通いの場を運営・協力する「通いの場ボランティア」の2種類があります。興味・関心がある人は、まず介護支援ボランティア養成講座を受講してください。詳しくは講座中に説明します。

活動の流れは？

- 1 地域包括支援センター実施する「介護支援ボランティア養成講座」を受講する
 - 2 介護支援ボランティアに登録し「介護支援ボランティアポイント手帳」をもらう
 - 3 町の指定するボランティア活動を行い、スタンプをためる
 - 4 年度末(3月)に「介護支援ボランティアポイント手帳」を担当課に持参し、ポイント交換の申請を行う
 - 5 翌年4月頃に商品を受け取る
- ※商品については、決まり次第お知らせします。

活動を広く知ってもらうために～より多くの方に届ける方法～

先日、野添コミセンでスマホサポーター養成講座(全3回、野添コミュニケーション委員会主催)が開催されました。これは、スマホを教えられる講師を地域住民から育成する取り組みで、今後この講座で学んだサポーターがコミセンなどでスマホ教室を開くとのこと。このように、地域内の情報共有もスマホなどデジタル機器を使うことが増えてきました。例えば、ある自治会では、閲覧板で共有している情報を、LINE公式アカウントでも発信し始めました。閲覧板は回ってくるまで時間がかかるのと、回ってきてもその家の誰か1人が見ると次に回ってしまうため、十分に情報共有できない方法でもあります。デジタル機器を使えば、手元に情報が届きます。地域活動の参加者を増やすためには、まずは情報を知ることが大事です。スマ



サポーター(住民)が参加者(住民)に教えるスマホ教室もスタートしました

ホなどを上手く活用しながら、より多くの方に情報が知れると、地域活動に参加するきっかけになると思っています。大切なのは、全てをデジタルにすることではなく、団体や活動に合わせてアナログも併用し、バランスを取ることです。具体的な方法などは個別に相談のついでですので、お声がけください。
なお、播磨町公式LINEでも町の情報を発信しています。ぜひご登録ください。

まちアド通信

企画グループ

☎079 (435) 0356

まちづくりアドバイザーがお届けする

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。